

公共交通を考えるワークショップ

第4回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

深沢区域

日時：平成31年1月21日（月）
午後7時～午後9時（予定）
場所：深沢会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップの進め方

第1回（9月26日（水））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（10月5日（金））・・・開催済み
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（11月13日（火））・・・開催済み
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（本日）
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

ワークショップの実施にあたって

2) 本日のワークショップで行いたいこと

第3回ワークショップのふりかえり

地区へのアンケート調査結果の確認

この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

グループワーク

(1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、
どのようになりますか？

(2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力し
ていただけることはありますか？



第3回ワークショップのふりかえり

「この地区の交通サービスの方向性（素案）」の確認

1. この地区の交通サービスの目的（素案）

鉄道駅や病院、買物に行く交通を確保する。

【いただいたご意見】

- ・金融機関や市役所も外せない。

2. 主な利用者の想定（素案）

- ・自分で車を運転できない方
- ・免許返納をした方

【いただいたご意見】

- ・来訪者、家族が車を使用し、自分が使える車がない住民も含める。

3. 交通サービスの候補（素案）

分類	サービス内容	備考
1) 必要な時に利用できるドアtoドアの交通	・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。	(具体的なサービス内容は、要検討)
2) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・タクシー券の配布。 (タクシーを活用。利用者の費用負担を減らす)
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	・決まった路線で、必要な時に車両を運行する。	・必要な時に運行する小型のバス。 (外部からの来客にも対応できる)
4) 住民主体の交通	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・市から自治会へワンボックスカーを貸与など。 (具体的なサービス内容は、要検討)

【いただいたご意見】

- ・特にありませんでした。

3. 交通サービスの候補（素案）

それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

- サービス内容に関する具体的なご意見
別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「サービス内容に関するご意見」（3ページ）をご覧ください。

- 交通サービスのメリットとデメリット
次ページの概要をご覧ください。

※メリットとデメリットについて、詳しくは、別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「交通サービス（候補）のメリット・デメリット」（4ページ）をご覧ください。

交通サービスのメリットとデメリット（主なご意見）

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 必要な時に利用できるドアtoドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> 自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会員制にして会費を集めれば、予算も確保しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>ドライバーがおらず、確保が難しい。</u> 高齢化が進むため、<u>維持できないのではないか。</u> ドライバーのシフト等<u>仕組みづくりが大変。</u>
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> タクシー代を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>安くタクシーが利用できる。</u> ドアtoドアである。 すでにタクシー会社があるので、<u>実現しやすい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>タクシーの空きがないと使えない。</u> <u>予算に上限があり、無制限に使える訳ではない。</u> 本当に使いたい人が使えるのか？
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> 決まった路線で、必要な時に車両を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>分かりやすい。</u> <u>あじさいシーズンの観光客等も使える。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>行ける範囲が限定される。</u> <u>利用者数は少ないと思われるため、現実性が低い。</u> <u>それなりに経費が掛かる。</u>
4) 住民主体の交通	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自主運行による交通手段を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>自由が利く。</u> <u>住民皆、顔見知りなので気楽に、安心して乗れる。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人がいないので、<u>ドライバーの確保が最大の課題。</u> <u>リーダー的な人がいないと始まらない。</u> <u>事故があった場合の責任。</u>

地区へのアンケート調査結果の確認

1. アンケート調査の実施概要

○目的

区域にお住まいの方を対象に、公共交通に対する日ごろの考え方やニーズ、ワークショップで検討されている交通サービスの利用意向などについて、広く把握することを目的とする。

○調査対象

深沢区域に居住する世帯 ⇒各世帯から1名
(32世帯。全世帯対象)

○調査方法

郵送配布、郵送回収

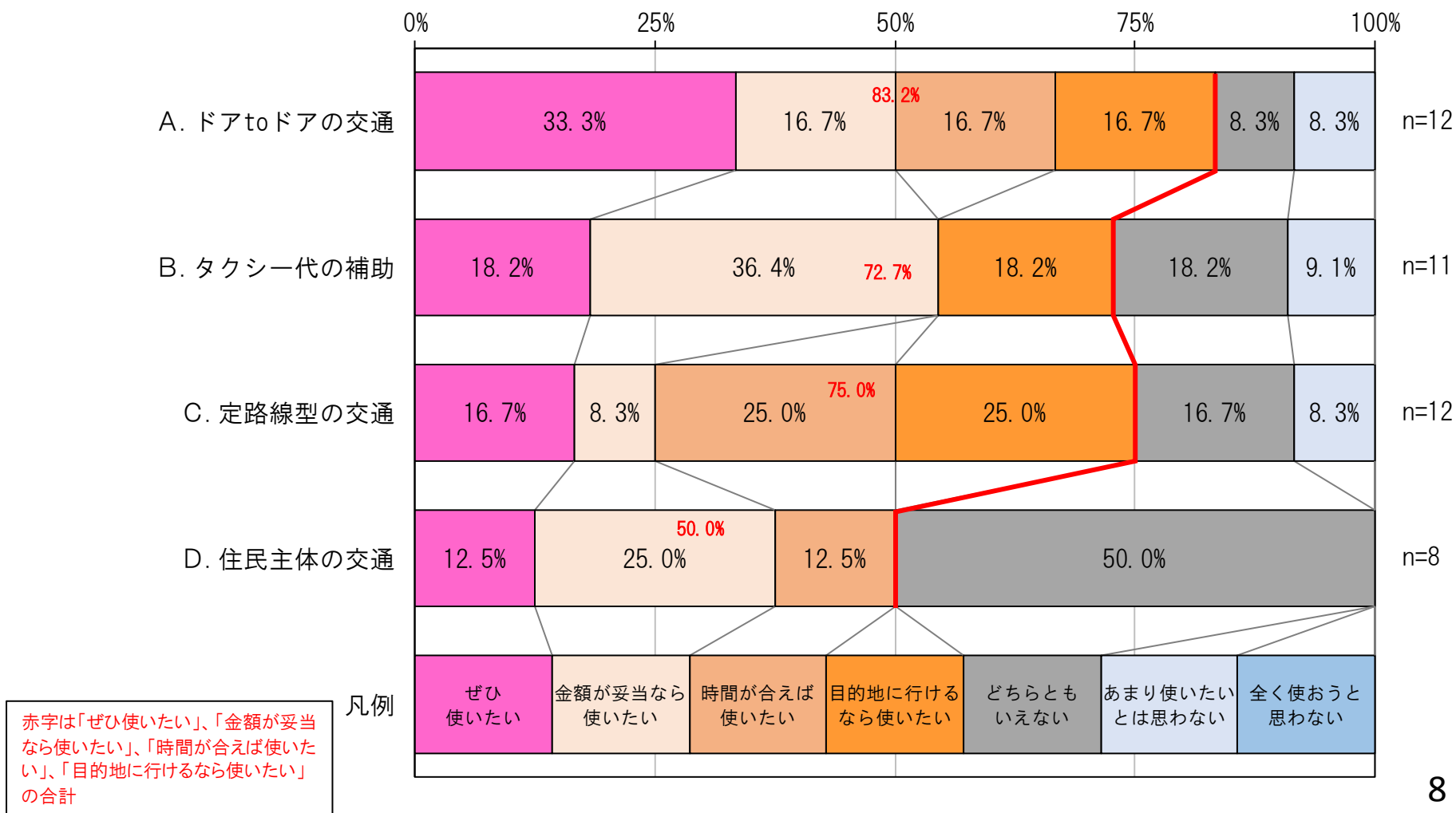
○調査期間

2018年12月14日～12月25日

2. アンケート調査の結果（概要）

■利用したいサービス

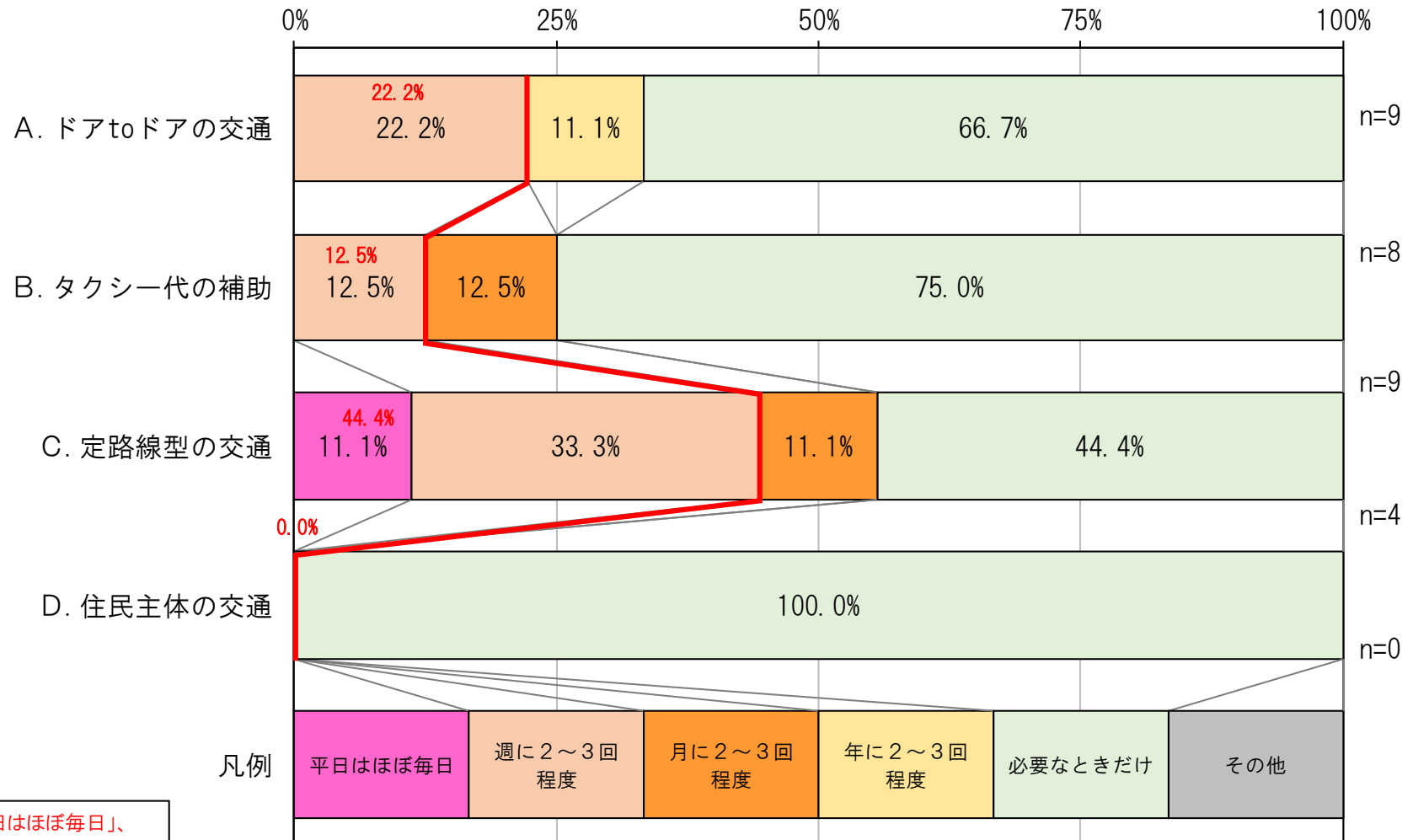
- いずれのサービス候補でも利用意向は50%を超えており、「使いたい」割合が最も高いのは「A. ドアtoドアの交通」83.2%、次いで「C. 定路線型の交通」75.0%、「B. タクシー代の補助」72.7%となっています。
- これらのうち、「ぜひ使いたい」とする割合が一番高いのも「A. ドアtoドアの交通」です。



2. アンケート調査の結果（概要）

■利用頻度 ……利用したいサービスについて、どのくらいの頻度で利用したいか

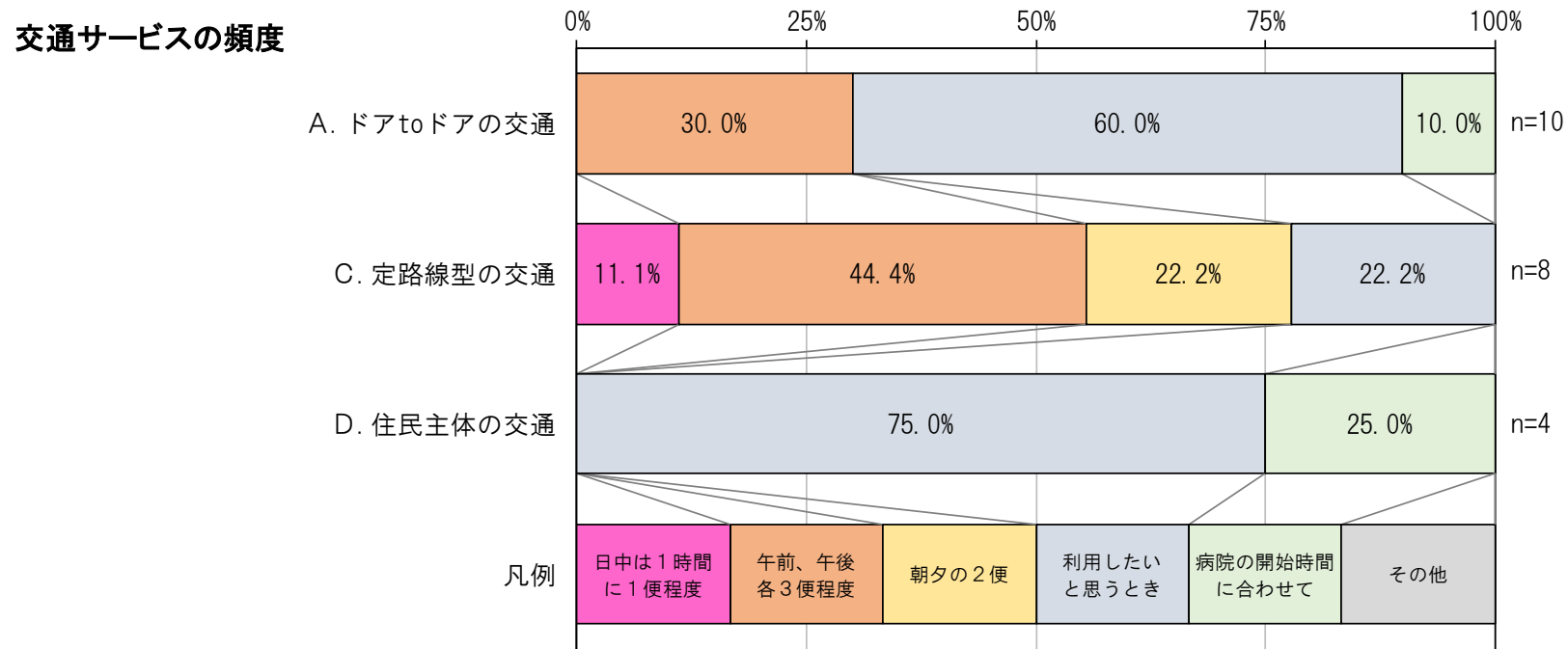
- 「C. 定路線型の交通」は、「週に2～3回程度」が33.3%であり、利用したい頻度も他に比べて高くなっています。



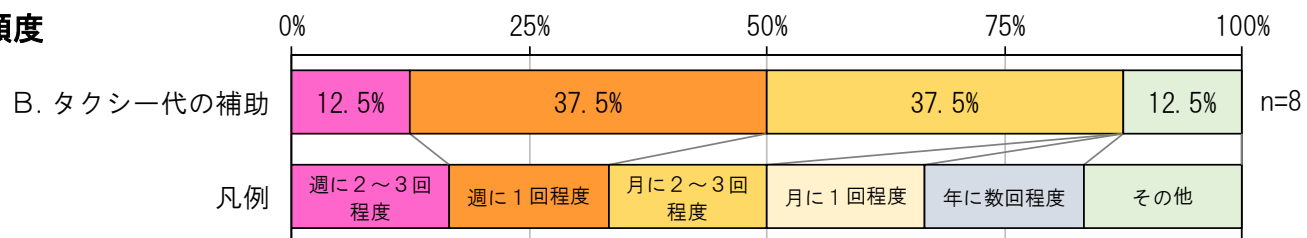
2. アンケート調査の結果（概要）

■ 運行頻度 …最低限、どの程度の頻度で運行されれば良いと思うか

- 「C. 定路線型の交通」は他のサービス候補と比べて求める運行頻度が高くなっています。
- 「日中は1時間に1便程度」の回答があったのは「C. 定路線型の交通」のみでした。
- 「B. タクシー代の補助」については他と選択肢が異なるため比較はできませんが、「週に1回程度」が「月に2～3回程度」がともに37.5%となっています。



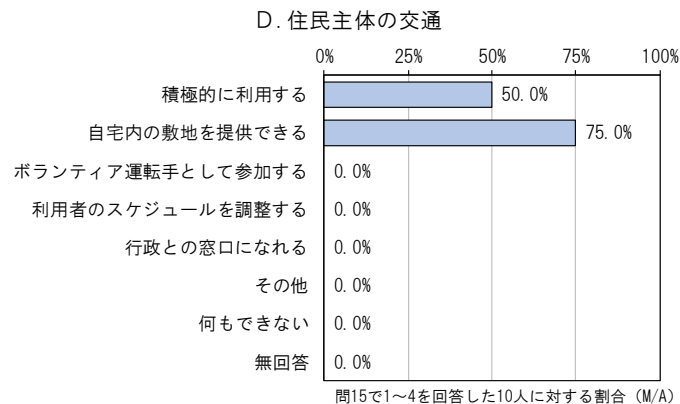
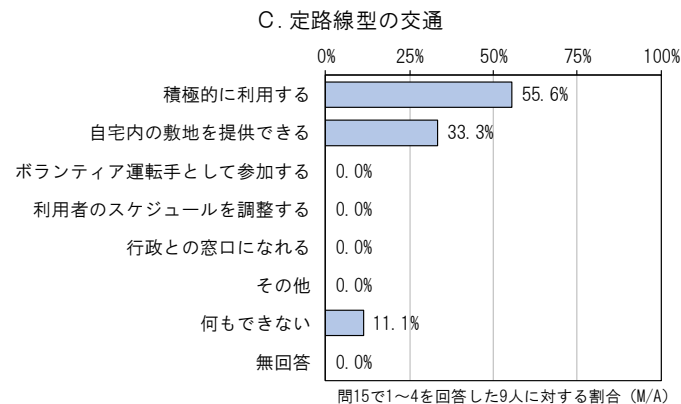
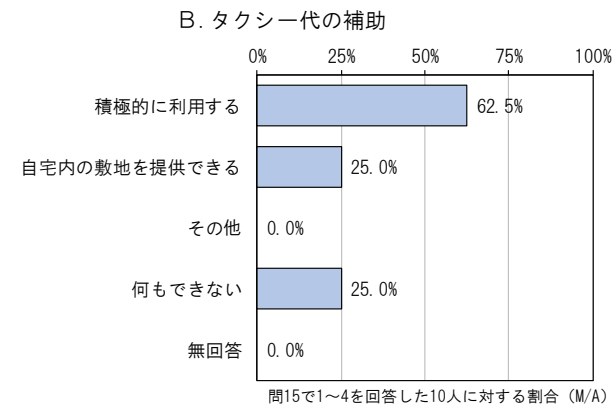
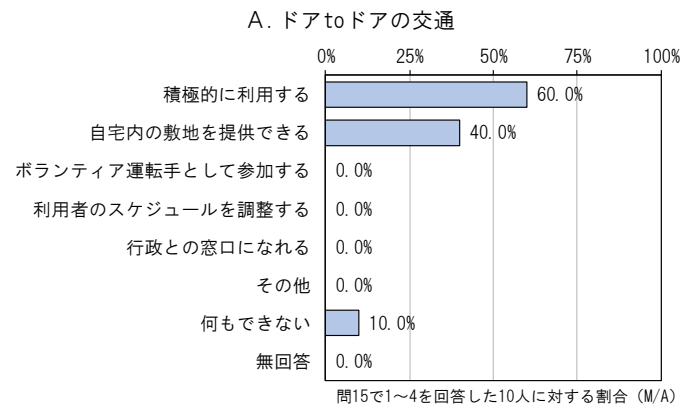
※タクシー代補助の頻度



2. アンケート調査の結果（概要）

■ 輸送サービスに対する支援 ……どのような支援ができると思うか

- 「A. ドアtoドアの交通」～「C. 定路線型の交通」については、「積極的に利用する」が60%前後で最も多くなっています。
- A、C、Dいずれも「自宅内の敷地を提供できる」という回答がみられますが、「ボランティア運転手として参加する」「利用者のスケジュールを調整する」等の回答はありませんでした。

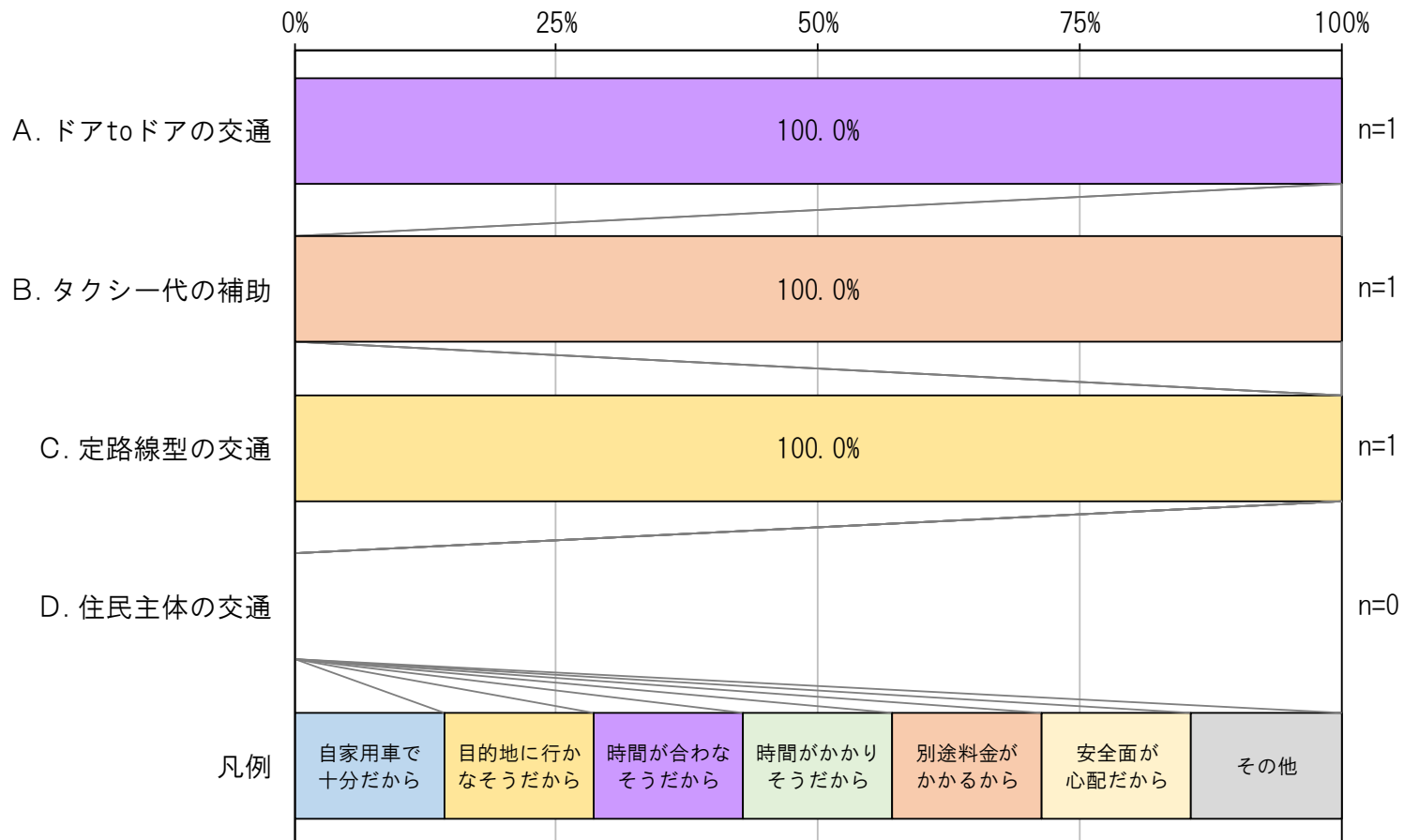


2. アンケート調査の結果（概要）

■ 利用しない理由

…「あまり使いたいとは思わない」「全く使おうと思わない」と答えたサービスについて、使わないと思う理由

- それぞれお1人の回答ですが、いずれのサービス候補についても、「自家用車で十分だから」という回答はありませんでした。
- 「D. 住民主体の交通」については、問15で「使おうと思わない」とした人がいなかったため、利用しない理由が挙げられていません。



この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

この地区の交通サービスに関する地区の素案

1. この地区の交通サービスの目的

鉄道駅や病院、買物、金融機関、市役所に行く交通を確保する。

2. 主な利用者の想定

- 自分で車を運転できない方※
- 免許返納をした方
- 来訪者

※「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含みます。

3. 交通サービスの候補

公共交通サービスの候補	想定されるサービス内容
① 必要なときに利用できるドアtoドアの交通	・自宅の近くから目的地まで、必要なときに利用できる車両を運行する。
② タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。
③ 必要なときに運行する定路線型の交通	・決まった路線で、必要なときに車両を運行する。
④ 住民主体の交通	・住民の自主運行による交通手段を導入する。 (地域の方が運転手となり、車両を運行する)

本日のグループワークについて

第3回ワークショップ

- この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
- それぞれの交通サービスのメリットとデメリット（良い面と悪い面）



第4回ワークショップ

この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓（交通サービスの4候補）

交通サービスの優先順位付け

グループワーク1

交通サービス（候補）に優先順位をつけていただきます。



優先順位の高い交通サービス

協力していただけることの見出し

グループワーク2

これらの交通サービスを入れる際に、協力していただけることをお聞きします。



グループワーク（1）

交通サービス（候補）に優先順位をつけると、
どのようになりますか？

- 第3回ワークショップで整理したメリット、デメリットも踏まえ、**14ページ**に示した交通サービスの候補に優先順位をつけると、どのようになりますか？

グループワーク（1）の流れ（それぞれのテーブルで）

1) 第3回ワークショップで整理したメリット、
デメリットの確認



2) それぞれ回答用紙の付箋に記入（上位3つ）



3) それぞれのテーブルでまとめ

グループワーク（２）

この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

- グループワーク（１）を踏まえて、優先順位が高い交通サービスを入れる際に、何か協力していただけることはありますか？

グループワーク（２）の流れ（それぞれのテーブルで）

1) やることの確認



2) それぞれ付箋に記入。
付箋を模造紙に整理し、テーブル内で意見出し。



3) それぞれのテーブルでまとめ。

ワークショップのまとめ

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」ということについて、地区としての案をまとめました。



今後の取組を進めるうえでの検討材料として活用します。

＜今後の市の動き＞

- ・市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域のうち、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。

（どの区域で実証実験を実施するかは現段階では未定です）

- ・実証実験の実施に向けて、各種の調整を進めてまいります。

